

ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十六條 組合又ハ組合ノ事業ヲ營ム法人ノ被保險者ニ對シ診療又ハ藥劑ノ支給ヲ爲ス醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ノ範圍ハ地方長官ノ認可ヲ受ケベシ

第四十九條 第四十六條ノ規定ニ依ル認可ノ申請アリタルトキハ地方長官ハ地方社會保險審査會ノ意見ヲ徵シ之方處分ヲ爲スベシ

第五十二條 組合ノ爲シタル保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ノ賦課若ハ徵收ノ處分又ハ第八條ノ規定ニ依ル滯納處分ニ不服アル者ハ地方長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ二以上ノ道府縣ニ跨ル組合ニ關スルモノニ在リテハ主務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルモノトス

前項ノ規定ニ依ル訴願ニ關シテハ組合ヲ訴願法ノ規定ニ依ル行政廳ト看做ス

第五十四條 營利ヲ目的トセザル社團法人ニシテ其ノ社員ノ爲ニ醫療ニ關スル施設ヲ爲スモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケ組合ノ事業ヲ行フコトヲ得

第五十七條 組合若ハ組合ノ事業ヲ行フ法人又ハ組合聯合會第三十七條第五項又ハ第四十三條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ處分ヲ拒ミ若ハ妨ゲタルトキハ其ノ役員又ハ清算人ヲ百圓以下ノ過料ニ處ス

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

健康保險法中改正法律の公布

第七十九回帝國議會の協贊を経たる健康保險法中改正法律は昭和十七年二月二十一日付官報を以て公布せられたが、之を掲ぐれば次の如くである。

健康保險法中改正法律(昭和十七年二月二十日法律第三十八號)

健康保險法中左ノ通改正ス

第一條第一項中「療養ノ給付又ハ傷病手當金、埋葬料、分娩費若ハ出産手當金ノ支給」ヲ「保險給付」ニ改メ同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

保險者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ被保險者ニ依リ生計ヲ維持スル者(以下被扶養者ト稱ス)ノ疾病、負傷又ハ分娩ニ關シ保險給付ヲ爲スモノトス

第二條第一項中「事業主ヨリ」ヲ削ル

第七條第二項中「補給金ヲ支給スル」ヲ「保險給付ヲ爲ス」ニ、「世帯員」ヲ「被扶養者」ニ改ム

第九條ノ二 行政官廳保險給付ニ關シ必要アリト認ム

ルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該官吏ヲシテ診療録其ノ他ノ帳簿書類ヲ検査セシムルコトヲ得

第十二條中「政府」ヲ「國、北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノ」ニ改ム

第十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル事業所ニ使用セララル者ハ健康保險ノ被保險者トス

一 工場法第一條ノ規定ニ依リ同法ノ適用ヲ受クル工場

二 鑛業法ノ適用ヲ受クル事業場又ハ工場

三 法人又ハ命令ヲ以テ定ムル團體ノ事務所ニシテ常時五人以上ノ従業員ヲ使用スルモノ

四 左ニ掲グル事業ノ事業所ニシテ常時五人以上ノ従業員ヲ使用スルモノ

(イ) 物ノ製造、加工、選別、包裝、修理又ハ解体ノ事業

(ロ) 鑛物ノ採掘又ハ採取ノ事業

(ハ) 電氣又ハ動力ノ發生、傳導又ハ供給ノ事業

(ニ) 貨物又ハ旅客ノ運送ノ事業

(ホ) 貨物積卸ノ事業

(ヘ) 物ノ販賣ノ事業

(ト) 金融又ハ保險ノ事業

(チ) 物ノ保管又ハ貸貸ノ事業

(リ) 媒介周旋ノ事業

(ヌ) 集金、案内又ハ廣告ノ事業

(ル) 其ノ他勅令ヲ以テ指定スル事業

第十三條ノ二 前條ノ規定ニ拘ラズ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ健康保險ノ被保險者トセズ

一 船員保險ノ被保險者(勅令ヲ以テ指定スル者ヲ除ク)

二 一年ノ報酬ガ勅令ヲ以テ定ムル額ヲ超ユル職員

三 臨時ニ使用セラルル者ニシテ勅令ヲ以テ指定スルモノ

四 前各號ニ掲グル者ノ外勅令ヲ以テ指定スル者

前條ノ規定ニ依リ健康保險ノ被保險者タルベキ者ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノ國民健康保險ノ被保險者タル期間ハ之ヲ健康保險ノ被保險者トセズ

第十四條 第十三條ニ規定スル事業所以外ノ事業所事業主ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ事業所ニ使用セラルル者ヲ包括シテ健康保險ノ被保險者ト爲スコトヲ得

前項ノ認可ヲ申請スルニハ被保險者ト爲ルベキ者ノ二分ノ一以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第十五條第一項中「事業」ヲ「事業所」ニ、同條第二項中「第十三條但書」ヲ「第十三條ノ二」ニ改ム

第十五條ノ二 健康保險ノ被保險者ヲ使用スル事業所ノ事業主ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ事業所ニ使用セラルル第十三條ノ二第一項第二號ニ該當スル者ヲ

包括シテ健康保險ノ被保險者ト爲スコトヲ得

第十三條ノ二(第一項第二號ヲ除ク)、第十四條第二項及前條第一項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十六條中「工場又ハ事業」ヲ「事業所」ニ改ム

第十七條第一項中「第十三條及第十五條」ヲ「第十三條、第十五條及第十五條ノ二」ニ、「第十三條但書若ハ第十五條第二項」ヲ「第十三條ノ二、第十五條第二項若ハ第十五條ノ二第二項」ニ改メ同條第二項ヲ削ル

第十八條中「第十三條及第十五條」ヲ「第十三條、第十五條及第十五條ノ二」ニ、「第十三條但書若ハ第十五條第二項」ヲ「第十三條ノ二、第十五條第二項若ハ第十五條ノ二第二項」ニ、「前條第一項」ヲ「前條」ニ改ム

第十九條第一項中「第十五條」ノ下ニ「又ハ第十五條ノ二」ヲ加フ

第二十條 第十八條ノ規定ニ依リ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ニシテ喪失ノ日前二月以上被保險者タリシモノハ勅令ノ定ムル所ニ依リ繼續シテ被保險者ト爲ルコトヲ得

第二十一條 前條ノ規定ニ依ル被保險者ハ同條ノ規定ニ依リ被保險者ト爲リタル日ヨリ六月ヲ經過シタルトキ其ノ他勅令ヲ以テ定ムル事由ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ資格ヲ喪失ス

第十八條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依ル被保險者ガ死亡シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條 保險者ハ被保險者及被扶養者ノ疾病若ハ負傷ノ療養又ハ被保險者及被扶養者ノ健康ノ保持増進ノ爲必要ナル施設ヲ爲シ又ハ之ニ必要ナル費用ノ支出ヲ爲スコトヲ得

第二十三條ノ二第一項中「被保險者」ヲ「被保險者及被扶養者」ニ、「保險者ノ施設」ヲ「前條ノ施設」ニ改ム

第二十七條乃至第二十九條及第三十五條中「事業」ヲ「事業所」ニ改ム

第三十條中「第十四條第一項」ノ下ニ「又ハ第十五條ノ二第一項」ヲ加フ

第三十一條中「一事業」ヲ「一又ハ二以上ノ事業所」ニ改ム

第三十三條 削除

第三十七條ノ二 主務大臣ハ健康保險組合ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ第二十三條ノ施設ヲ爲スコトヲ命ジ又ハ之ニ必要ナル費用ノ支出ヲ命ズルコトヲ得

第四十二條中「業務」ヲ「事業所」ニ改ム

第四十二條ノ二 健康保險組合ハ共同シテ其ノ目的ヲ達スル爲健康保險組合會ヲ設立スルコトヲ得

健康保險組合聯合會ハ法人トス

健康保險組合聯合會ヲ設立セントスルトキハ規約ヲ作り主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

主務大臣ハ健康保險組合ニ對シ健康保險組合聯合會ニ加入スルコトヲ命ズルコトヲ得

第二十三條、第二十三條ノ二、第三十四條、第三十六條乃至第三十九條及第四十一條ノ規定ハ健康保險組合聯合會ニ之ヲ準用ス

第四十三條 被保險者ノ疾病又ハ負傷ニ關シテハ左ニ

掲グル療養ノ給付ヲ爲ス

一 診察

二 藥劑又ハ治療材料ノ支給

三 處置、手術其ノ他ノ治療

四 病院又ハ診療所ヘノ收容

五 看護

六 移送

前項第四號乃至第六號ノ給付ハ保險者ガ必要アリト認ムル場合ニ於テ爲スモノニ限ル但シ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四十三條ノ二 前條第一項第一號乃至第四號ノ給付ヲ受ケントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險醫及保險藥劑師並ニ保險者ノ指定スル者ノ中自己ノ選定シタル者ニ就キ之ヲ受クルモノトス此ノ場合ニ於テハ勅令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外主務大臣ノ定ムル所ニ依リ一部負擔金ヲ支拂フベシ

第四十三條ノ三 保險醫又ハ保險藥劑師ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ就キ行政官廳之ヲ指定ス

醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ハ正當ノ理由ナクシテ保險醫又ハ保險藥劑師タルコトヲ拒ムコトヲ得ズ

醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ヲ使用スル者ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ガ保險醫又ハ保險藥劑師タルコトヲ妨グルコトヲ得ズ

又ハ保險藥劑師タルコトヲ妨グルコトヲ得ズ

第四十三條ノ四 保險醫及保險藥劑師ガ療養ノ給付ヲ擔當スルニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十三條ノ五 保險醫若ハ保險藥劑師又ハ之ヲ使用スル者ガ療養ノ給付ニ關シ保險者ニ請求スベキ費用ノ額ハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第四十四條ノ二 療養ノ給付ハ同一ノ疾病又ハ負傷及

之ニ因リ發シタル疾病ニ關シ其ノ給付ヲ始メタル日

ヨリ起算シ六月ヲ經過シタルトキハ之ヲ爲サズ

主務大臣ノ指定スル疾病ニ關シテハ保險者ハ勅令ノ

定ムル所ニ依リ前項ノ期間ヲ超エ繼續シテ療養ノ給

付ヲ爲スモノトス

第四十五條中「一日ニ付」ノ下ニ「職員ニシテ勅令ヲ以

テ定ムルモノニ在リテハ報酬日額ノ百分ノ五十二相當

スル金額ヲ、其ノ他ノ者ニ在リテハ」ヲ加フ

第四十六條中「病院」ヲ「病院又ハ診療所」ニ改ム

第四十七條第一項及第二項ヲ左ノ如ク改ム

傷病手當金ノ支給期間ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ

因リ發シタル疾病ニ關シテハ療養ノ爲メ勞務ニ服スル

コト能ハザルニ至リタル日ヨリ起算シ六月ヲ以テ限

度トス

第四十四條ノ二第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準

用ス

第四十八條第一項中「前條」ヲ「第四十四條ノ二」ニ改ム

第四十九條第一項中「報酬日額ノ三十日分」ヲ「報酬月

額」ニ改ム

第五十條中「二十圓」ヲ「勅令ヲ以テ定ムル額」ニ改ム

第五十一條 保險者ハ被保險者ヲ産院ニ收容スルコト

ヲ得

産院又ハ病院若ハ診療所ニ收容シタル被保險者ニ對

シテ支給スベキ分娩費及出産手當金ハ勅令ノ定ムル

所ニ依リ之ヲ減額スルコトヲ得

彙報

爲リタルトキハ保險給付ヲ爲サズ

第五十九條ノ二 第一條第二項ノ保險給付ニ關シ其ノ

種類、範圍其ノ他必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十一條中「傷病手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セザ

ル」ヲ「保險給付ノ全部又ハ一部ヲ爲サザル」ニ改ム

第六十二條第二項中「病院、病舎又ハ療養所ニ收容セ

ラレタル者ニ對シテハ」ヲ「療養費ノ支給又ハ療養アリ

タルトキハ其ノ限度ニ於テ」ニ改ム

同條第四項中「補給金ヲ支給スル」ヲ「保險給付ヲ爲ス」

ニ改ム

第六十三條中「之ニ支給スベキ傷病手當金ノ一部ヲ支

給セサル」ヲ「之ニ爲スベキ保險給付ノ一部ヲ爲サザ

ル」ニ改ム

第六十九條ノ二第一項中「世帯員」ヲ「被扶養者」ニ、同

條第二項中「補給金」ヲ「保險給付」ニ改ム

第六十九條ノ三 保險者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ本章

ニ規定スル保險給付ニ併セテ保險給付トシテ其ノ他

ノ給付ヲ爲スコトヲ得

第七十條 國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ健康保險事業

ニ要スル費用ノ一部ヲ負擔ス

第七十二條但書中「第二十條」ノ上ニ「第十五條ノ二又

ハ」ヲ加フ

第七十四條第一項中「一日ニ付報酬日額」ヲ「一月ニ付

報酬月額」ニ改メ同項但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ被保險者タル資格ヲ喪失シタル月ニ於テ被保險

者タル資格ヲ取得シタル者及第十五條ノ二又ハ第二

十條ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第七十六條中「其ノ期間」ノ上ニ「勅令ノ定ムル所ニ依

リ」ヲ加フ

第八十四條ノ二 第八十一條及前條ノ規定ニ依ル訴訟

又ハ行政訴訟ニ關シテハ健康保險組合ハ之ヲ行政廳

ト看做ス

第八十七條 當該官吏又ハ其ノ職ニ在リタル者故ナク

第九條ノ二ノ規定ニ依ル診療録ノ検査ニ關シ知得シ

タル醫師若ハ齒科醫師ノ業務上ノ秘密又ハ個人ノ秘

密ヲ漏洩シタルトキハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以

下ノ罰金ニ處ス

職務上前項ノ秘密ヲ知得シタル他ノ公務員又ハ公務

員タリシ者故ナク其ノ秘密ヲ漏洩シタルトキ亦前項

ニ同ジ

第九條ノ二ノ規定ニ依ル當該官吏ノ検査ヲ拒ミ、妨

ゲ又ハ忌避シタル者ハ五百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ

處ス

正當ノ理由ナクシテ第九條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ

質問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ答辯ヲ爲シ又ハ

其ノ検査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタル者ハ三百圓以

下ノ罰金ニ處ス

第九十條第一項中「健康保險組合」ノ下ニ「及健康保險

組合聯合會」ヲ、「第三十七條」ノ下ニ「(第四十二條ノ

二第五項ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム)」ヲ加フ

附則

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

職員健康保險法ハ之ヲ廢止ス

前項ノ規定施行前ノ職員健康保險ノ保險給付及保險料

其ノ他ノ徵收金ニ關シテハ仍舊法ニ依ル

第二項ノ規定施行ノ際現ニ存スル職員健康保險組合ハ

同規定施行ノ日ヨリ健康保險組合ト爲リ職員健康保險

組合ノ權利義務ヲ承繼スルモノトス

第二項ノ規定施行ノ際現ニ職員健康保險ノ被保險者タル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ健康保險ノ被保險者ト爲リタルモノトス

第二項ノ規定施行ノ際現ニ職員健康保險ノ被保險者タリシ者ニシテ健康保險ノ被保險者ト爲リタルモノノ受クル健康保險ノ保險給付ニ關シテハ其ノ者ガ職員健康保險ノ被保險者タリシ期間健康保險ノ被保險者トシテ期間ト看做シ其ノ者ガ職員健康保險ノ被保險者トシテ保險給付ヲ受ケタル期間ハ健康保險ノ被保險者トシテ之ニ相當スル保險給付ヲ受ケタル期間ト看做ス

第二項ノ規定施行前職員健康保險ノ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ハ健康保險ノ保險給付及徴收金ニ關シテハ健康保險ノ被保險者タリシ者ト看做シ其ノ者ガ職員健康保險ノ被保險者トシテ受ケタル保險給付ハ健康保險ノ被保險者トシテ受ケタル之ニ相當スル保險給付ト看做ス

第二項ノ規定施行前職員健康保險法ニ違反シタル者ノ處罰ニ付テハ仍舊法ニ依ル
前六項ニ定ムルモノノ外第二項ノ規定施行ノ際必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
勞働者年金保險法中左ノ通改正ス

第十六條及第十八條中「工場、事業場又ハ事業」ヲ「事業所」ニ改ム

第十七條第一項中第二號ヲ左ノ如ク改メ第三號及第十四號ヲ削ル

二 健康保險法第十三條ノ事業所以外ノ事業所ニ使用セラルル者

第十八條中第三號ヲ左ノ如ク改ム

三 前條第一項第二號ノ事業所ト爲ルニ至リタル

トキ

第二十四條第三項、第三十二條第二項及第三十七條第二項中「工場、事業場若ハ事業」ヲ「事業所」ニ改ム
〔參照〕

大正十一年四月二十日法律第七十號健康保險法抄錄

第一條 健康保險ニ於テハ保險者カ被保險者ノ疾病、負傷、死亡又ハ分娩ニ關シ療養ノ給付又ハ傷病手當金、埋葬料、分娩費若ハ出産手當金ノ支給ヲ爲スモノトス

保險者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ被保險者ト同一ノ世帯ニ屬シ被保險者ニ依リ生計ヲ維持スル者（以下世帯員ト稱ス）ノ疾病又ハ負傷ノ療養ニ要シタル費用ニ付補給金ヲ支給スルコトヲ得

第二條第一項

本法ニ於テ報酬ト稱スルハ事業ニ使用セラルル者カ勞務ノ對價トシテ事業主ヨリ受クル賃金、給料又ハ俸給及之ニ準スヘキモノヲ謂フ

第七條 保險者又ハ保險給付ヲ受クヘキ者ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ戶籍ニ關シ戶籍事務ヲ管掌スル者又ハ其ノ代理人ニ對シ無償ニテ證明ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ規定ハ第一條第二項ノ補給金ヲ支給スル場合ニ於テハ世帯員又ハ世帯員タリシ者ノ戶籍ニ關シ之ヲ準用ス

第十二條 政府ノ事業ニ使用セラルル者ニ關シテハ本法ノ適用ニ付勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル工場、事業場又ハ事業ニ使用セラルル者ハ健康保險ノ被保險者ト

ス但シ臨時ニ使用セラルル者ニシテ勅令ヲ以テ指定スルモノ、一年ノ報酬千二百圓ヲ超ユル職員及職員健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ此ノ限ニ在ラズ

一 工場法第一條ノ規定ニ依リ同法ノ適用ヲ受クル工場

二 鑛業法ノ適用ヲ受クル事業場又ハ工場

三 左ニ掲グル事業ニシテ常時五人以上ノ勞働者ヲ使用スルモノ

(イ) 物ノ製造、加工、選別、包裝、修理又ハ解體ノ事業

(ロ) 鑛物ノ採掘又ハ採取ノ事業

(ハ) 電氣ノ傳導又ハ動力ノ發生若ハ傳導ノ事業

(ニ) 地方鐵道法又ハ軌道法ノ適用ヲ受クル事業

(ホ) (三)ニ掲グルモノヲ除クノ外貨物又ハ旅客ノ運送ノ事業ニシテ勅令ヲ以テ指定スルモノ

(ヘ) 貨物積卸ノ事業

(ト) 前各號ニ掲グルモノノ外勅令ヲ以テ指定スル事業

第十四條 前條ノ工場、事業場又ハ事業ヲ除クノ外左ノ各號ノ一ニ該當スル事業ノ事業主ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ事業及之ニ附屬スル事業ニ使用セラルル者ヲ包括シテ健康保險ノ被保險者ト爲スコトヲ得前條ノ工場、事業場又ハ事業ニ附屬スル事業ニ付亦同ジ

一 前條第三號ノ事業ニシテ常時五人未滿ノ勞働者ヲ使用スルモノ

二 土木工事又ハ工作物ノ建設、保存、修理若ハ破壊ノ工事ニシテ主務大臣ノ指定スルモノ

三 削除

四 前各號ニ掲グルモノノ外勅令ヲ以テ指定スル事業

前項ノ認可ヲ申請スルニハ被保險者ト爲ルヘキ者ノ二分ノ一以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

一 事業ニ於テ作業ノ場所ニ以上アル場合ニ於テハ第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ主務大臣ハ其ノ一又ハ二以上ノ場所ニ於ケル作業ヲ一事業ト看做スコトヲ得

第十五條 前條ノ認可アリタルトキハ其ノ事業ニ使用セラルル者ハ健康保險ノ被保險者トス

第十三條但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十六條 第十三條ノ工場又ハ事業ガ同條ノ規定ニ該當セザルニ至リタルトキハ其ノ工場又ハ事業ニ付第十四條ノ認可アリタルモノト看做ス

第十七條 第十三條及第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ業務ニ使用セラルルニ至リタル日又ハ第十三條但書若ハ第十五條第二項ノ規定ニ該當セザルニ至リタル日ヨリ其ノ資格ヲ取得ス

職員健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ同法第二十六條第一項ノ認可アリタル場合ニ於テハ其ノ認可アリタル日ノ翌日ヨリ健康保險ノ被保險者ノ資格ヲ取得ス

第十八條 第十三條及第十五條ノ規定ニ依リ被保險者ハ死亡シタル日、其ノ業務ニ使用セラレサルニ至リタル日又ハ第十三條但書若ハ第十五條第二項ノ規定ニ該當スルニ至リタル日ノ翌日ヨリ其ノ資

格ヲ喪失ス但シ其ノ事實アリタル日ニ更ニ前條第一項ノ規定ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス

第十九條第一項

第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ヲ使用スル事業主ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ被保險者ノ全部ヲシテ其ノ資格ヲ喪失セシムルコトヲ得

第二十條 第十八條ノ規定ニ依リ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ニシテ喪失ノ際引續キ六十日以上被保險者タリシモノハ勅令ノ定ムル期間内ニ申請ヲ爲ストキハ繼續シテ被保險者ト爲ルコトヲ得但シ職員健康保險又ハ船員保險ノ被保險者タル者ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十一條 前條ノ規定ニ依ル被保險者ハ前條ノ規定ニ依リ被保險者ト爲リタル日ヨリ百八十日ヲ經過シタルトキ、保險料ヲ納付セズシテ命令ヲ以テ定ムル猶豫期間ヲ經過シタルトキ、第十三條若ハ第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタルトキ又ハ職員健康保險若ハ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ其ノ資格ヲ喪失ス

前條ノ規定ニ依ル被保險者死亡シタル場合ニハ第十八條ノ規定ヲ準用ス

第二十三條 保險者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被保險者ノ健康ヲ保持スル爲必要ナル施設ヲ爲スコトヲ得

第二十三條ノ二第一項 保險者ハ事業ニ支障ナキ場合ニ限り被保險者ニ非ザル者ヲシテ保險者ノ施設ヲ利用セシムルコトヲ得

第二十七條 健康保險組合ハ事業主及其ノ事業ニ使用セラルル被保險者ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十八條 一又ハ二以上ノ事業ニ付被保險者常時三百人以上ヲ使用スル事業主ハ健康保險組合ヲ設立スルコトヲ得

被保險者ヲ使用スル二以上ノ事業主ハ共同シテ健康保險組合ヲ設立スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ被保險者ノ員數ハ合算シテ常時三百人以上タルコトヲ要ス

第二十九條 健康保險組合ヲ設立セムトスルトキハ組合員タル資格ヲ有スル被保險者ノ二分ノ一以上ノ同意ヲ得規約ヲ作り主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ二以上ノ事業ニ付健康保險組合ヲ設立セムトスル場合ニ於テハ前項ノ同意ハ各事業ニ付之ヲ得ルコトヲ要ス

第三十條 前二條ノ規定ニ於テ被保險者トアルハ第十四條第一項ノ規定ニ依ル認可ノ申請ト同時ニ健康保險組合ノ設立認可ノ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ被保險者ト爲ルヘキ者トス

第三十一條 主務大臣ハ一事業ニ付第十三條ノ規定ニ依ル被保險者常時五百人以上ヲ使用スル事業主ニ對シ健康保險組合ノ設立ヲ命スルコトヲ得

第三十三條 第十四條第三項ノ規定ハ第二十八條、第二十九條及第三十一條ノ規定ノ適用ニ付之ヲ準用ス

第三十七條 主務大臣ハ健康保險組合ニ對シ事實ニ關スル報告ヲ爲サシメ、事業及財産ノ狀況ヲ検査シ、規約ノ變更ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四十二條 同時ニ二以上ノ業務ニ使用セラルル被

保險者ノ保險者ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第四十三條 被保險者ノ疾病又ハ負傷ニ關シテハ療

養ノ給付ヲ爲ス

前項ノ療養ノ給付ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一項ノ場合ニ於テ療養上必要アリト認ムルトキ

ハ保險者ハ被保險者ヲ病院ニ收容スルコトヲ得

第四十五條 被保險者療養ノ爲メ勞務ニ服スルコト能

ハサルトキハ其ノ期間傷病手當金トシテ一日ニ付

報酬日額ノ百分ノ六十二相當スル金額ヲ支給ス但

シ業務上ノ事由ニ因リ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル

場合以外ノ場合ニ於テハ勞務ニ服スルコト能ハサ

ルニ至リタル日ヨリ起算シ第四日ヨリ之ヲ支給ス

第四十六條 病院ニ收容シタル被保險者ニ對シテ支

給スヘキ傷病手當金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ

減額スルコトヲ得

第四十七條 療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ハ同一

ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付其ノ

保險給付ヲ始メタル日ヨリ起算シ百八十日ヲ經過

シタルトキハ之ヲ爲サズ

主務大臣ノ指定スル疾病ニ關シテハ保險者ハ命令

ノ定ムル所ニ依リ前項ノ期間ヲ超エ通ジテ一年ニ

至ル迄繼續シテ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ

爲スコトヲ得但シ其ノ保險給付ヲ始メタル日前勅

令ノ定ムル期間引續キ被保險者タリシ者ニ限ル

傷病手當金ハ其ノ支給期間ヲ經過セザルトキト雖

モ療養ノ給付ヲ爲シ得ル期間ヲ經過スルニ至リタ

第四十八條第一項

左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ保險者ハ前

條ニ規定スル期間ヲ超エテ療養ヲ必要トスル者ニ

對シ繼續シテ療養ノ給付ヲ爲スコトヲ得

(左記略ス)

第四十九條第一項

被保險者死亡シタルトキハ被保險者ニ依リ生計ヲ

維持シタル者ニシテ埋葬ヲ行フモノニ對シ埋葬料

トシテ被保險者ノ報酬日額ノ三十日分ニ相當スル

金額ヲ支給ス但シ其ノ金額カ三十圓ニ滿タサルト

キハ之ヲ三十圓トス

第五十條 被保險者分娩シタルトキハ分娩費トシテ

二十圓ヲ、出產手當金トシテ分娩ノ前後勅令ヲ以

テ定ムル期間一日ニ付報酬日額ノ百分ノ六十二相

當スル金額ヲ支給ス

第五十一條 保險者ハ被保險者ヲ産院ニ收容シ又ハ

助産ノ手當ヲ爲スコトヲ得

産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲シタル被保險者

ニ對シテ支給スヘキ分娩費及出產手當金ハ勅令ノ

定ムル所ニ依リ之ヲ減額スルコトヲ得

第五十五條 被保險者ノ資格ヲ喪失シタル際疾病、

負傷又ハ分娩ニ關シ保險給付ヲ受クル者ハ被保險

者トシテ保險給付ヲ受クルコトヲ得ヘカリシ期間

繼續シテ同一保險者ヨリ其ノ給付ヲ受クルコトヲ

得

第五十六條第一項

前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受クル者死亡シタル

トキ、前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受ケタル者其

ノ給付ヲ受ケサルニ至リタル日後九十日以内ニ死

亡シタルトキ又ハ其ノ他ノ被保險者タリシ者被保

險者ノ資格ヲ喪失シタル日後九十日以内ニ死亡シ
タルトキハ被保險者タリシ者ニ依リ生計ヲ維持シ
タル者ニシテ埋葬ヲ行フモノハ最後ノ保險者ヨリ
埋葬料ノ支給ヲ受クルコトヲ得

第五十七條 被保險者タリシ者被保險者ノ資格ヲ喪

失シタル日後勅令ヲ以テ定ムル期間内ニ分娩シタ

ルトキハ分娩ニ關シ被保險者トシテ受クルコトヲ

得ヘカリシ保險給付ヲ最後ノ保險者ヨリ受クルコ

トヲ得

第五十七條ノ二 前三條ノ規定ニ拘ラズ被保險者タ

リシ者職員健康保險又ハ船員保險ノ被保險者ト爲

リタルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ保險給付ヲ爲

サズ

第六十一條 被保險者鬪爭、泥酔若ハ著シキ不行跡

ニ因リ又ハ故意ニ危害豫防ニ關スル業務上ノ監督

者ノ指揮ニ從ハサルニ因リ事故ヲ生セシメタルト

キハ傷病手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セサルコト

ヲ得

第六十二條第一項、第二項及第四項

被保險者又ハ被保險者タリシ者左ノ各號ノ一ニ該

當スル場合ニ於テハ疾病、負傷又ハ分娩ニ關シ其

ノ期間ニ係ル保險給付ハ之ヲ爲サズ

一 陸海軍ニ徵集又ハ召集セラレタルトキ

二 本法施行區域外ニ在ルトキ

三 矯正院其ノ他之ニ準ズベキモノニ入院セシメ

ラレタルトキ

四 監獄、留置場又ハ勞務場ニ拘禁又ハ留置セラ

レタルトキ

他ノ法令ノ規定ニ依リ國又ハ公共團體ノ負擔ニ於

テ病院、病舎又ハ療養所ニ收容セラレタル者ニ對シテハ療養ノ給付ヲ爲サズ

保險者ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者第一項各號ノ一ニ該當スル場合ト雖モ第一條第二項ノ補給金ヲ支給スルコトヲ妨ゲズ

第六十三條 保險者ハ正當ノ理由ナクシテ療養ニ關スル指揮ニ從ハサル者ニ對シ之ニ支給スヘキ傷病手當金ノ一部ヲ支給セサルコトヲ得

第六十九條ノ二 第六十條、第六十二條第一項及第二項、第六十五條並ニ第六十七條ノ規定ハ世帯員ニ之ヲ準用ス

第五十五條ノ規定ハ第一條第二項ノ補給金ニ之ヲ準用ス

第七十條 國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ各健康保險組合ノ保險給付ニ要スル費用ノ十分ノ一ヲ負擔ス

前項ノ規定ニ依ル國庫負擔金ノ總額カ被保險者一人ニ付一年平均二圓ノ割合ヲ超ユル場合ニ於テハ各健康保險組合ニ對スル國庫負擔金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ限度ニ至ル迄之ヲ減額スルモノトス

前項ニ規定スル被保險者ノ員數ノ計算ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十二條 被保險者及被保險者ヲ使用スル事業主ハ各保險料額ノ二分ノ一ヲ負擔ス但シ第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ全額ヲ負擔ス

第七十四條第一項

被保險者ノ負擔スベキ保險料額ハ一日ニ付報酬日額ノ百分ノ三ヲ超ユルコトヲ得ス但シ第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第七十六條 被保險者第六十二條第一項各號ノ一ニ

該當スル場合ニ於テハ其ノ期間保險料ヲ徵收セズ

第八十七條 正當ノ理由ナクシテ第九條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ質問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ答辯ヲ爲シ又ハ其ノ検査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十條第一項

健康保險組合カ第三十七條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ處分ヲ拒ミ若ハ妨ゲタルトキハ其ノ役員ヲ百圓以下ノ過料ニ處ス

昭和十六年三月十一日法律第六十號勞働者年金保險法抄録

第十六條

健康保險法第十三條ノ工場、事業場又ハ事業ニ使用セラルル勞働者ハ勞働者年金保險ノ被保險者トス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラズ

一 常時十人未滿ノ勞働者ヲ使用スル工場、事業場又ハ事業ニ使用セラルル者

二 勅令ヲ以テ指定スル工場、事業場又ハ事業ニ使用セラルル者

三 女子

第十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル勞働者ハ地方長

官(東京府ニ在リテハ警視總監以下同ジ)ノ認可ヲ受ケ勞働者年金保險ノ被保險者ト爲ルコトヲ得

一 前條第一號、第二號又ハ第三號ノ規定ニ該當スル者

二 健康保險法第十四條第一項第二號ノ事業ニ使用セラルル者

三 前二號ニ掲グルモノノ外勅令ヲ以テ指定スル

事業ニ使用セラルル者

四 前條ノ工場、事業場又ハ事業ニ附屬スル事業及前二號ノ事業ニ附屬スル事業ニ使用セラルル者

第十八條 第十六條ノ工場、事業場又ハ事業ガ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ際同條ノ規定ニ依ル被保險者トシテ其ノ工場、事業場又ハ事業ニ使用セラルル者ニ付テハ前條ノ認可アリタルモノト看做ス

三 前條第一項第二號、第三號又ハ第四號ノ事業ト爲ルニ至リタルトキ

第二十四條第三項

被保險者ノ資格ヲ喪失シタル後更ニ其ノ資格ヲ取得シタル者ニ對シテ保險給付ヲ爲ス場合ニ於テハ前後ノ被保險者タリシ期間ハ之ヲ合算ス但シ左ニ掲グル期間ハ之ヲ合算セズ

二 命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外同一ノ事業主ノ工場、事業場若ハ事業又ハ同一ノ工場、事業場若ハ事業ニ被保險者トシテ引續キ使用セラレタル實期間六月未滿ナルトキハ其ノ期間

所得稅法中改正法律の公布

第七十九回帝國議會の協贊を経たる所得稅法中改正法律は昭和十七年二月二十三日付官報を以て公布、昭和十七年四月一日より施行されることとなつたが、既に前號本欄所報の如く本改正は一般的増稅を斷行せる反面、稅制度に於ける人口政策的考慮は扶養家族に對する控除規定に關し一層の擴充強化を示すに到つた。改正法律中特に扶養家族控除及び生命保險加入に